

シルバー トピック

地域包括ケア推進室 ☎ 66-1105

もしものときのために 人生会議

人生の最終段階は、不慮の事故で突然やってくる場合や、病気により徐々に訪れる場合などさまざまです。

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。こうした場合、家

族は延命のための医療行為を積極的に行うかどうか、短時間で選択しなくてはなりません。そのため、最期まで自分らしく生きるためには、医療やケアをどこで・どのように受けたいと望んでいるか・望まないかを、元気なうちから自身で考え、家族や医療・介護関係者と共有しておくことが大切です。そして、これらの意思は、心身の状態に応じて変化することがあるため、繰り返し話し合っておくことも必要となります。

人生会議って？

(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)

元気なうちから「どのような医療やケアを受けたいか」を考え、前もってその意思を家族や医療・介護関係者と繰り返し話し合い、共有する取り組み。



利用者の声

「〇歳を過ぎたら書こう」ではなく、自分の思いを伝えることができる時に家族に伝えておくことが大切だと思いました。これからは人生の節目だけでなく、日常で思いついたときに書いていきたいと思います。



日々の生活に流され、もしものときのことを家族で考えたり話し合う機会がありませんでした。そんな時、知人からおぼえ書きのことを教えてもらい始めました。大げさではなく紙1枚と簡単なもので終末のことを考えるよいきっかけとなりました。

もしものときのためのおぼえ書き「わたしの最期の意思表示」
延命治療を望むか、余命宣告されたら知らせてほしいかといった、自分の意思を記入することができるシートです。また、医療や介護のことでだけでなく、大切な人に伝えたいことも書くこともできます。家族などと話し合うためのきっかけとして利用してください。

配布場所

在宅医療・介護連携サポートセンターがまほっと

在宅医療フィルムフォーラム

とき 2月15日(土) 午後1時30分～4時 (開場:午後0時30分)

ところ 市民会館中ホール

内容 映画「ピア～まちをつなぐもの～」上映、蒲郡市の医療と介護を支える仲間の紹介

入場料 無料(長寿課・市民会館・勤労福祉会館で配布する入場整理券が必要)

問合せ 在宅医療・介護連携サポートセンターがまほっと ☎ 65-9050

